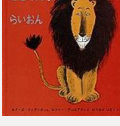
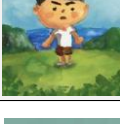


よみきかせ（小1・2年生向け）おすすめ本リスト2

小学校低学年（5～7歳）の子どもさんに読んでほしい・読んで聞かせてあげたいおすすめ本の第二弾です。

荒尾市立図書館ブックリスト No.55

「よみきかせ（小1・2年生向け）No.2」 2026.9月

No	
1	なにか いいこと あった？  おじいちゃんに尋ねられ、ダニエルは“いいこと”を探して公園をめぐる。今まで出来なかったことが出来るようになること、からだが大きくなること、新しいいのちがうまれること…。たくさんいいことが見つかって、毎日がうれしくなるような絵本です。 ①ミーシャ・アーチャー ②B L出版 ③E9 アチ ④2025 ⑤20059705
2	ムーミンのたからもの  仲間たちは、みんな宝物を持っているけど自分は？と考えるムーミン。自分だけの宝物を探しに出かけます。ムーミンだけが持っている宝物は目に見えない…ママが気づいてくれました。 ①トベ・ヤンソン ②講談社 ③E9 ヤン ④2005 ⑤20051460
3	てんてん きょうだい  「にーちゃん！にーちゃん！でんでんづける！でんでんづける！」点々をつけるのが大好きな兄弟が、色々な言葉に点々をつけていきます。読み聞かせでは子どもたちとのやり取りを楽しめて、日本語の面白さにも触れられる言葉遊び絵本です。 ①山田 慶太 ②ポプラ社 ③E9 ヤマ ④2023 ⑤20051740
4	ごきげんならいおん  ごきげんな気のいいライオンが、おりの戸があいていたので街へ散歩に出かけます。仲よくしてくれると思った街の人はみんなびっくり？着想のすばらしい愉快な絵本です。 ①ルイズ・ファティオ ②福音館書店 ③E9 フア ④1982 ⑤20024447
5	おんちよろよろ  一夜の宿を貸した男の子がためらったお経を、熱心に唱え続けた老夫婦。その「ありがたいお経」が泥棒たちを退散させます。声に出して調子よく読むことで、楽しさが増す日本語絵本です。 ①瀬田 貞二/再話 ②福音館書店 ③E9 セタ ④2016 ⑤20053290
6	わらしべちょうじや  心やさしい貧乏な男が、かんのんさまに願をかけ、帰りに拾った一本のわらしべから、めぐりめぐって大金持ちの長者になるお話。子どもたちに伝えたい昔話です。 ①さいごう たけひこ ②ポプラ社 ③E9 サイ ④1978 ⑤20036848
7	カラーモンスター きもちをなにする？  カラーモンスターはいろんな気持ちでごちゃごちゃ。自分でも何かなんだかよくわかりません。こんならかった気持ちをほどなくしてはなりません。カラーモンスターと一緒に、自分の感情を把握して気持ちの整理や表現ができるようになる本です。 ①アナ・レナス ②永岡書店 ③E9 レナ ④2020 ⑤20050933
8	へいわってすてきだね  「へいわってなにか。ぼくは、かんがえたよ」沖縄の6歳の少年が書いた詩に、長谷川義史さんが絵を描いた絵本。素直な言葉が心に響き、平和について子どもたちと一緒に考えることができます。 ①安里 有生/詩 ②ブロンズ新社 ③E9 アサ ④2014 ⑤20034834
9	ラッテとふしぎなたね  猫のラッテは植物を育てるのが大好き。ある日、不思議な鳥が庭に種を落としていきました。種をまいてみると、芽が出てつぼみをつけましたが、かたいまま開きません。それでも、ラッテはお世話を続けます。猫とちいさな緑のやさしさ溢れる物語です。 ①庄野 ナホコ ②小峰書店 ③E9 シヨ ④2025 ⑤20058566
10	もったいないばあさんのおばあちゃん  もったいないばあさんは子どもの頃、田んぼでお米作りをしていたおばあちゃんから、感謝することや生きものたちへの思いやりなど、大事なことをいっぱい教わりました。大切にされてきた日本の心を未来に伝える絵本です。 ①真珠 まりこ ②講談社 ③E9 シン ④2024 ⑤20055056

No	
11	ふゆのようせいジャック・フロスト  森の友だちはみんな冬ごもりのまっさいちゅう。だから、コリンと犬のサミィは冬なんてだいさいらい。ところが、ある寒い朝…。冬から春へと季節が移ろう時期に読みたいふしぎなお話です。 ①カズノ・コハラ ②光村教育図書 ③E9 コハ ④2009 ⑤20035391
12	だって春だもん  森に春がやってくる！オタマジャクシもモモンガも、木や草の芽も…みんな待っています。自然のすばらしさを教えてくれる写真絵本です。 ①小寺 卓夫 ②アリス館 ③E9 コテ ④2009 ⑤20035299
13	のはらのひなまつり  色紙で作ったともこのおひなさまが風にとばされて、たんぽぽのはらの動物たちのもとへ。人間も動物もひとつになれる幼児の遊びの世界で、ひなまつりの楽しい情景を伝えます。 ①神沢 利子 ②金の星社 ③E9 カン ④1980 ⑤20055293
14	ぼんぼこあめふり  急に雨がふってきて、友だちはみんな家に帰ったけれど、まだ遊び足りないぼんぼは一人に。「いっしょにあそぼう」と声をかけてきた子は妖怪でした…。雨の中で思いきり遊び子どもたちの姿がいきいきと描かれ、雨の日が楽しくなる絵本です。 ①田中 友佳子 ②徳間書店 ③E9 タナ ④2023 ⑤20053308
15	ふしぎなひきだし  日曜日、家の引き出しをあけると、そこには長い階段が！階段をおりると花畑や青い海が広がっています。砂浜で待っていたのは…。不思議ですてきな世界に連れていってくれます。 ①荻田 澄子 ②金の星社 ③E9 ツカ ④2022 ⑤20052344
16	かもめたくはいびん  かもめさんたちがやっている宅配便屋さんはいつも大忙し。配達員を探してんちょうさんの前に現れたのは、なんと空を飛べないペンギンさん…!? シュールな可愛さで、大人も思わずくすくす笑ってしまう絵本です。 ①いしい ひろし ②白泉社 ③E9 イン ④2015 ⑤20036050
17	くるみのなかには  「くるみの なかには なにがある？」宝物やリスの裁縫箱など、手にのせて、耳をすませて…と小さな問いから、木が育つように大きく広がっていく美しい想像の世界が描かれます。 ①たかお ゆうこ ②講談社 ③E9 タカ ④2017 ⑤20038427
18	できるよできるよ  小さなハリネズミは、周りの生き物たちがすることを見て、自分も同じようにできると思っていました。真似してチャレンジした後は「み～んなとくいなこと、もってるんだね」と気づきます。コラージュで彩られた秋の野山の風景も素敵なお話です。 ①稲田 和浩/監修 ②教育画劇 ③K361 イナ ④2025 ⑤20058490
19	十二支のしんねんかい  元日に、十二支の動物たちが新年会へ。千里をかけるとうら、天まで昇るたつ、福をとりこむとりなど語呂のよい言葉に乗せて、十二支の動物たちを紹介しつづけます。動物たちの切り絵も楽しいお正月に読みたい絵本です。 ①みき つきみ ②こぐま社 ③E9 ミキ ④2012 ⑤20046895
20	ふくはうちおにもうち  節分の夜、男が一人で酒を飲んでいると、外で「さむいよー」と声がする。だれかと思ったら、鬼たちがいて「それなら入れ」と男は誘い、やがてにぎやかな宴会に。そこへ福の神もやってきて…。鬼が悪役ではない楽しいお話です。 ①内田 麟太郎 ②岩崎書店 ③E9 ウチ ④2004 ⑤20039347